

2022 活動報告 ジャパンデータリポジトリ ネットワーク (JDARN)推進部会

JDARNの設立目的

**よりよい研究データ
管理と運営がわかる
専門家集団を目指し
ています。**



現在のメンバーは約25名

1. 国内にあるデータリポジトリの信頼性を国際的に期待されている水準に高める。
2. データリポジトリへの要求の多様化に対し、共通の課題を議論する。
3. データリポジトリコミュニティを作る。

2021年までの主な活動

1. **2017年10月:**
「国内の分野リポジトリ関係者のネットワーク構築」小委員会として設立
2. **2017年12月:**
CoreTrustSeal(CTS)を使ったセルフアセスメントを試みるワークショップを開催
3. **2018年2月～9月:**
CTSの日本における適用可能性を議論
⇒データリポジトリに要求される項目を「アイテム」としてCTSから抽出
4. **2018年10月:**
ジャパンデータリポジトリネットワーク(JDARN)小委員会として再始動
5. **2018年10月～2019年3月:**
上記「アイテム」を基に「研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン」として必要な内容を整理・議論
6. **2019年4月～2021年1月:**
リポジトリ関連の勉強会やミーティング等
7. **2021年2月～:**
ジャパンデータリポジトリネットワーク推進部会(JDARN)として活動

これまでに作成したJDARNの成果物は、

https://japanlinkcenter.org/rduf/about/index.html#s004_0

から公開しています。



研究データリポジトリ整備・ 運用ガイドライン

JDARNで作成した原案が採用され、**2019年3月**に
内閣府「国際的動向を踏まえたオープンサイエンス
の推進に関する検討会」の文書として発行

- **2018年10月**：上記検討会（第7回）で途中経過を発表
<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaiopen/7kai/7kai.html>
- **2018年12月**：内閣府と合同でワークショップを開催

研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン

平成31年3月29日
国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの
推進に関する検討会

1. 研究データの保存・公開とデータリ
ポジトリの整備・運用
2. 研究データリポジトリの定義及び役割
3. FAIR原則
4. 信頼できる研究データリポジトリの整
備・運用に関する要件

<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaiopen/guideline.pdf>



2022年の主な活動

- 月例委員会の開催
- リポジトリリストの検討
- JOSS2022でのセッション開催
 - 「研究データへのDOI登録促進」小委員会との合同開催

リポジトリリストの検討

• 背景

- 研究機関やコミュニティにおいて、どのような条件を満たすリポジトリにデータを寄託すべきかをポリシーとして策定したい
- どのリポジトリがどのような条件を満たしているか知りたい

• 主な利用者像（ペルソナ）

- データを登録／検索したい研究者
- 所属する研究者に適切なリポジトリを推奨したい研究機関
- 助成者に適切なリポジトリを推奨したいファウンダー

• 現在の検討状況

- リスト項目案を決定
- いくつかのリポジトリについてリストに入力
- リポジトリ案を公開し、意見・コメントを募集中
<https://wa.rdm-japan.org/t/topic/202>

作成中のリスト (一部)

項目名	必須/任意	例: GlycoPOST	例: LSDBArchive	例: MDR	例: Nagoya repository	地球環境データベース (GED)
ID	必須	undefined	undefined	undefined	undefined	undefined
リポジトリ名	必須	GlycoPOST	カイク	Materials Data Repository	学術機関リポジトリ	地球環境データベース
リポジトリ名 (略称等)	任意	GlycoPOST	LSDB Archive	MDR	Nagoya repository	GED
リポジトリurl	必須	https://glycopost.glycosmos.org/	https://dbarchive.biosciencedbc.jp/index.html	https://mdr.nims.go.jp	https://nagoya.repo.nii.ac.jp/?page=1&size=20&sort=custom_sort&search_type=0&q	https://db.cger.nies.go.jp/ged/ja/index.html
リポジトリ識別子名	任意		re3data	re3data		
リポジトリ識別子値	任意		http://doi.org/10.17616/R3894W	http://doi.org/10.17616/R31NJMW		
ミッション・概要	必須	質量分析のメタデータと生データを登録	カイクは、国内のライフサイエンス研究者が生み出したデータセットをわが国の公財としてまとめて長期間安定に維持保管し、データ説明(メタデータ)を統一して検索を容易にすると共に、利用	材料研究データや文献等を保存・公開しているデータリポジトリです。	大学の研究者、大学院生等による研究論文・学位論文・学会発表論文・教材などを収集し、インターネットにより無償公開していく仕組みです https://nagoya.repo.nii.ac.jp/wrq/get/uploaded/yoko_20210312-re.pdf/Root%20Index	国立環境研究所(CPI/NIES) 地球システム領域(ESD) 地球環境研究センター(AGER)では、地球温暖化をはじめとする地球環境問題に関する自然科学・社会科学分野の研究で得られたデータや成果を収集・整備し、公開する基盤データ
ミッションurl	任意		https://dbarchive.biosciencedbc.jp/contents/about/about.html	https://dice.nims.go.jp/services/MDR/	https://nagoya.repo.nii.ac.jp/wrq/get/uploaded/yoko_20210312-re.pdf/Root%20Index	https://db.cger.nies.go.jp/ged/ja/about.html
運営計画url	任意		https://dbarchive.biosciencedbc.jp/contents/about/about.html	https://dice.nims.go.jp/services/MDR/		
リポジトリタイプ	必須	分野別リポジトリ	分野別リポジトリ	リポジトリ	機関リポジトリ	分野別リポジトリ
リポジトリサイズと確認日	任意	206 projects, 1.6TB 2022/7/14	153データセット、約150TB	2344件	件数を書くべき? ちなみ	2022/8/19
データ最終更新日	任意		2022/10/3	2022/07/15		2022/8/5
リスト登録日	必須	2022/7/14	2022/7/12		2022/7/15	2022/8/19
リスト最終更新日	必須	2022/7/14	2022/10/25		2022/7/15	2022/8/19
言語	必須	英語	日本語/英語	英語	日本語/英語	日本語/英語
リポジトリ公開日	任意	記載不明	2009/3/18	2020/06/15	2015/03/18	2014/05
稼働状況	必須	稼働中	稼働中	稼働中	稼働中	稼働中
稼働状況確認日	必須	2022/7/14	2022/10/25	2022/07/15	2022/07/15	2022/8/19
リポジトリ分野	必須	生命科学	生命科学分野	材料科学分野	全般??	地球環境科学
分野キーワード	任意	糖鎖、質量分析	生命科学, ライフサイエンス	材料、マテリアル、物理、化学		地球環境、気候変動、温室効果ガス、温暖化

セッションD2：2022年6月7日 14:00-15:30

研究データへのDOI登録

DOI（デジタルオブジェクト識別子）登録機関であるJaLC（ジャパンリンクセンター）が「研究データへのDOI登録実験プロジェクト」（2014-2015）を立ち上げ、成果物として「研究データへのDOI登録ガイドライン」を取りまとめてから6年が経過した。当時、研究データへのDOI登録に関して、日本においてはほとんど知見が無い状態であったが、その後、国内においても研究データへのDOI登録に関する運用経験の蓄積が進みつつある。オープンサイエンスの拡大や、引用など学術成果としての活用において、研究データへのDOI登録の重要性は今後ますます高まると考えられる。

本セッションは、RDUFの「研究データへのDOI登録促進」小委員会およびJDARN部会が合同で企画したもので、研究データへのDOI付与が持つ意味について改めて考えるとともに、DOI登録の事例共有を通して、今後の課題や、改訂作業中のDOI登録ガイドラインに盛り込むべき内容について、様々な分野・立場の方々と議論・意見交換を行う。

- ・ 講演「FAIR原則の紹介」：武田英明（NII）
- ・ 講演「分野・コミュニティによるデータ公開の捉え方の温度差」：林和弘（NISTEP）
- ・ 事例紹介「オープンデータの功績：COVID-19パンデミック事例」：白井知子（NIES）
- ・ 講演「ライフサイエンスにおけるDOI登録～糖鎖における事例～」：山田一作（野口研）
- ・ 講演「NIMS Materials Data Repositoryにおける研究データへのDOI登録運用」：松田朝彦（NIMS）
- ・ 講演「研究データへのDOI登録ガイドライン改訂について」：中島律子（JST）

- ・ 総合討論：：研究データDOI登録でわからないこと・困っていること・DOI登録のインセンティブなど



仲間を募集しています

- JDARNでは各分野のリポジトリ関係者が集まって様々な議論を重ねています。
 - 地球観測
 - 環境
 - 情報
 - 物質・材料
 - 生命科学
 - 海洋
 - 情報通信
 - 地質
 - 人文学
- 研究データリポジトリの運営に関心があれば、ぜひJDARNに参加しませんか。
 - JDARNに参加するには、まず下記フォームからRDUFに入会を申し込んでください。
https://form.jst.go.jp/enquetes/jalc_rduf_admission
 - 既にRDUF入会済の方は、下記アドレスまでご連絡ください。
rd-repository@mr.jst.go.jp